

事業目的・背景・課題

- 消費単価の高い層を中心にサステナブルツーリズムへの関心が国際的に急増し、2023年から2032年にかけて年平均14%の市場拡大が予想される。我が国の地域に根付く自然・文化・歴史・産業等を活用し、このような層に訴求する『観光利用を地域資源の保全に還元するための好循環の仕組みづくり』を進めることで、地方誘客・インバウンドの消費拡大に期待。加えて、このような地域資源を活用した持続可能に稼げる地域化を通して、後継者不足等の地域が抱える課題の解決にも寄与。
- このような旅行形態は、地域資源の保全との均衡や地域側の受入体制の限界等から、消費単価の高い層を少数誘客するビジネスモデルの地域が大層であり、個々の旅行者の体験価値・満足度の向上が緊要。特に体験価値・満足度の向上に直結する専門ガイドによる同行案内・解説(インタープリテーション)の質の向上・品質管理等の総合的なサービス水準の向上が重要となるが、人材不足、多言語等のインバウンド対応不足、安全対策等のサービス水準の確保等が課題となっている。これらの諸課題を改善し、コンテンツの高度化に取り組むことが必要。

事業内容

観光利用を地域資源の保全に還元するための好循環の仕組みづくりを行い、さらに総合的なサービス水準を向上させ、コンテンツの高度化を図る取組を支援。

- ① **サステナブルな観光コンテンツの高度化モデル事業(調査事業)**
質の高い専門ガイドの確保・育成等による総合的なサービス水準の向上(商品魅力向上・品質管理・安全対策強化等)、地域が一体となった自走可能なビジネスモデルづくり等
(一件あたり上限20百万円(自然・文化・歴史・産業等))
- ② **サステナブルな観光コンテンツの造成に必要な受入環境整備(補助事業)**
(一件あたり上限5百万円(施設改修・整備、設備導入・物品購入))

事業イメージ

地域の経済・社会・環境の
持続可能性の向上のサイクルを加速化

- ・地域経済や保全への還元
- ・人的交流・地域のファンの増加

好循環の仕組みづくり

- ・地域資源の保全
- ・地域の魅力を伝えるガイドの確保
- ・地域経済への貢献
- ・シビックプライドの醸成

旅行者

受入地域

- ・本物の体験・滞在を実感できる魅力的なコンテンツの提供



専門ガイドの高度化



受入拠点の改修

事業スキーム

事業期間：令和4年度～

- ・事業形態：① 直轄事業 ② 直接補助事業(補助率 1/2)
- ・補助対象：① (実証事業公募) 地方公共団体・DMO・民間事業者等
② 地方公共団体・DMO・民間事業者等